

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和8年5月20日（水）午前10時30分から

会 場：アオーレ長岡 東棟4階 大会議室

【 会見項目1：5/29 空襲の史実と平和の尊さを後世へ 長岡戦災資料館がリニューアルオープン 】

〈市長〉

1つ目の項目は、長岡戦災資料館のリニューアルオープンです。

長岡戦災資料館が、5月29日にリニューアルオープンします。コンセプトは「慰霊・史実の継承・市民協働による平和への思いの発信」です。ボランティアの皆さん、ご遺族の皆さん、語り部の皆さんのお力をいただきながら、お披露目できることを嬉しく思っています。

戦災資料館は、開館以来、市民の皆さんに育てていただいた施設で、今回、旧互尊文庫の建物をリノベーションしてオープンします。資料館前の明治公園は、空襲の爆撃中心点の碑もあり、一体的に整備しながら、多くの皆さんを迎え入れていきたいと考えています。

1階の「祈りの間」には、381人の殉難者の遺影が掲げられ、奥には1,489人の殉難者の名簿もあります。空襲で多くの方々が犠牲になられたということを感じていただく空間です。2階は資料展示室で模型やCG映像、デジタルコンテンツなど新しい展示をしています。

私も、実際に施設を見て、訪れた人が、空襲の悲惨さや史実に触れ、平和への思いを深めていただけるよう工夫されていると感じました。空襲で長岡がどのような体験をしたのか、そこからどう立ち上がったのかも、体感できる施設になったと思っています。

明治公園は、静かな環境で、親子連れがそこで遊ぶこともできる空間として整備しました。

長岡戦災資料館は、全国でも珍しい、市民が育ててきた資料館です。語り部の方々、遺族の方々が高齢になっていく、お亡くなりになっていくなかで、改めて空襲の体験というものを、次の世代、未来に、どうやって引き継いでいくのか、全国的な戦災関係の施設との連携とか、一緒に何ができるかということを考えていきたいと思えます。

〈記者〉

資料の数はこれまでより増えているのでしょうか。

〈戦災資料館館長〉

旧資料館は約240点で、新資料館では約350点展示します。1階の資料閲覧室では寄贈された図書1200冊も閲覧できます。資料が訴えかける力を重視した展示にしています。

〈記者〉

デジタルコンテンツは、3Dマップのほかにどのようなものがありますか。

〈戦災資料館館長〉

8月1日の空襲当日、市民の逃げたルートをデジタル地図で動かすものがメインです。現在は30件弱の体験談やワークショップのデータが入っていますが、今後、体験者数を増やしていきます。

〈記者〉

多くの方が訪れることが予想されますが、どういった場所になってほしいか伺います。

〈市長〉

世界では戦争や紛争が絶えず、残虐で悲しいニュースが毎日入ってきます。資料館で長岡空襲の実態を知っていただき、命の尊さや平和の大切さを実感してもらいたいと思います。戦争の悲惨さを多くの方に伝えたいです。これが人を大切にし、子どもや友達を大切に生きる生き方につながれば、米百俵のまち長岡としてこれに勝る喜びはありません。

〈記者〉

記念講演会と体験を聞く会は、申し込みなど必要なのでしょうか。

〈戦災資料館館長〉

講演会は、かなりの申し込みがあります。先着順ですが、申し込みをお願いいたします。体験を聞く会も申し込みがあれば確実に席を用意します。

〈記者〉

資料館のスタッフは何人でしょうか。

〈戦災資料館館長〉

スタッフは5人で施設維持管理を行い、市の総務課職員が1人常駐します。

〈記者〉

ボランティアの方が週1回いらっしゃったと思いますが、今回はどうなるのでしょうか。

〈戦災資料館館長〉

これまでどおりボランティアの方に週1回程度来ていただきます。

【 会見項目 2 : 長岡市初 ! 悠久山野球場と市民防災公園にネーミングライツを導入 】

〈市長〉

2項目は、ネーミングライツに2件取り組んでいきたいということであります。

ひとつは、長岡市悠久山野球場で、契約期間は10月から5年間、年間1,000万円以上のネーミングライツ料を希望金額として提案いただきたいということであります。条件として悠久山という名前は入れてもらいたいと考えています。

2つ目は、市民防災公園で、契約期間は10月から令和12年3月まで、ネーミングライツ料の希望額100万円以上でご提案いただければというもので、「防災」をイメージさせる愛称とすることとしています。運用は10月以降を予定しており、本市によるネーミングライツは初めての試みです。今後も市の資産の有効活用を図っていきたいと考えています。

〈記者〉

今回のネーミングライツの導入によって集まる財源の使い道についてお伺いします。工事をするとか補修をするとか、明確に決まっている使い道などはございますか。

〈財産管理部長〉

具体的な使途は決めていませんが、それぞれの施設の維持管理費に使いたいと考えています。

〈記者〉

悠久山が1,000万円、防災公園が100万円ですが、維持管理費から算出したということでしょうか。

〈財産管理部長〉

他市のネーミングライツ料や、施設の広告価値などを考慮して決めています。

〈記者〉

悠久山の愛称を使用するという、条件をつけられた理由をお伺いします。

〈スポーツ振興課長〉

悠久山という名称を使いながらスポーツを通じた観光や他分野との連携、にぎわいを創出していくという観点から、悠久山という名称を入れていただくことを考えています。

〈記者〉

ネーミングライツを導入した狙いと、2つの施設を選んだ理由をお聞きします。

〈市長〉

コスト削減や行財政改革に取り組んでいます。ネームバリューのある場所でネーミングライツ料を得て、サービス拡大・充実に活用できると考え、この2施設を選びました。

〈記者〉

今後、何年度までに合計何件という数は決まっているのでしょうか。

〈財産管理部長〉

公共建築物適正化計画の中で、この2施設のほかに3施設を令和8年度から5年間の間で検討しています。

〈記者〉

応募にあたり、事業者は市内に限るとか、何か制限や条件などがありますか。

〈財産活用担当課長〉

市内企業に限定せず広く募集します。市外企業でも長岡市を応援したい企業があれば応募可能と考えています。

〈記者〉

今回、公募する2つの施設の維持管理に係る市の支出は年間いくらでしょうか

〈スポーツ振興課長〉

悠久山野球場は指定管理委託で、年間委託料は3,500万円です。

〈都市施設整備課長〉

市民防災公園単独の維持管理費は今、用意していませんが、公園管理費全体で約3億5,000万円の年間維持管理費がかかっています。

〈記者〉

8年度から3施設という話がありましたが、施設名をお伺いできますか。

〈財産管理部長〉

山古志闘牛場、大手口ペDESTリアンデッキ、ニュータウン運動公園で検討しています。

〈記者〉

ネーミングライツ募集後も、悠久山野球場が、どうあり続けて欲しいか伺います。

〈市長〉

悠久山は、長岡開府 300 年の際に経済界有志が整備し市に寄贈した市民協働の原点の施設であり、牧野家ゆかりの蒼紫神社など長岡の歴史が詰まっています。格別な愛着が悠久山の名称に込められており、新しいネーミングにもこの名称を入れていただき、悠久山を通じた長岡市のアピールができればと考えています。

【同時リリース 悠久山屋根付多目的コートオープン】

〈市長〉

旧悠久山プールをリノベーションして、多目的コートをオープンするという事で6月2日を予定しています。

人工芝を備えたコートで、テニスやグラウンドゴルフ、野球の練習など幅広い活動に利用いただけます。多くの皆様から、健康やスポーツのためご活用いただきたいと思ひます。

【その他質問】

〈記者〉

小千谷市にあった J S ファンダリの土地建物を TDK が取得するという話がありました。長岡市長としての受け止め、あるいは長岡市への波及効果、期待、J S ファンダリが破綻したことによる長岡市に与えた影響をお願いします。

〈市長〉

J S ファンダリは 500 人の社員がいて、そのうち半分は長岡市民です。かなりの方が、再就職をされておりますが、まだ再就職されていない方もいらっしゃると思ひております。正式な発表はないですが、報道のとおりであれば、TDK の関連会社の TDK ラムダの拠点が長岡市にありますので、長岡と小千谷は同一の経済圏ということ踏まえれば、より生産能力、生産活動が盛んになる可能性が高いので、歓迎したいと思ひます。

〈記者〉

実際あった影響はいかがでしょうか。

〈市長〉

500 人のうち 400 人が再就職となっているので、悪影響は解消しつつあると思ひていますが、100 人の方がまだと考えれば、市民生活には大きな影響を与えたと思ひます。